

古代のロマンと神祕にいどむ ～「高岡の森保存会」の活動～

高岡の森は新鮮で爽やかな風が流れる憩いの森になってきました。2006年（平成18年）2月に地元の要望に応えて、県・市と自治会により、森の間伐が始まりました。その後、森の保存・整備を続けていくための住民による「高岡の森保存会」が2007年（平成19年）5月に発足しました。また、地主の協力により2008年（平成20年）3月には駐車場も完備されました。これからも草刈り・植栽・清掃などを行い、さらに安らぎのある憩いの森になるように、保存会を中心に活動を続けていきたいと思っております。

この高岡の森にある高岡1号古墳は、飯沼地区では最大級の前方後円墳で、県史跡に指定されています。座光寺には77基の古墳がありましたが、中心になる古墳の一つであります。6世紀前半頃、大和朝廷の時代にこの地を治めていた豪族のお墓で、石室の石の組み方から朝鮮から渡来した人の古墳といわれています。副葬品として、馬具・金環・玉類が多く出土しました。さらに、形象埴輪・円筒埴輪や土器などが発掘され、当時の生活を

うかがい知ることができる遺物となっています。

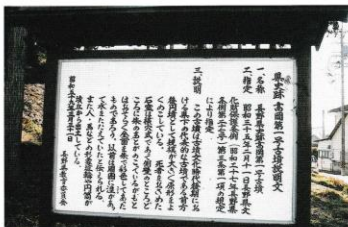
周囲には同様の渡来人系の古墳とされる畦地1号古墳を始め、多くの古墳が残されています。東側一帯には、奈良時代の古代伊那郡衙の正倉院・郡庁を始め、古代官衙の建物跡があらちここに広がっています。このような建物跡は、恒川遺跡群から北は高森町下市田、南は上郷飯沼地区まで広がるともいわれています。高岡の森だけでなく、古代文化地帯の整備が進めばありがたいと思っています。



ルミア光学跡地の駐車場
地主の協力により広々とした駐車場が実現し、ベンチもできました。



高岡神社社殿から前撮した表門付近
明るく広々とした広場ではベタンク、花火大会などにも利用されています。



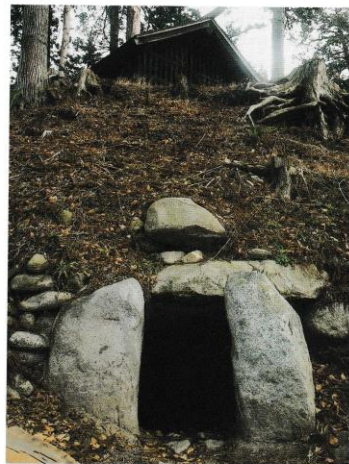
県史跡指定看板 指定よりほぼ50年



旧国道側の森
交通の妨げになるほど繁った状態は改善され、風通しのいい明るい姿に変貌しました。



間伐・草取り作業中
平成18年、19年に間伐を実施。後片付けに汗流す作業。



石室の入口



石室内部
石が縦に使われています。築造時は石室内部は全面朱が塗られていたといわれます。



平成19年、20年実施の理地見学会
暑い時期多くの皆さんが講師の話に熱心に聞き入っています。

(石田文夫)